

お父さん！出番です「地域のおやじ」として

父親が家庭教育や子どもの健全育成などの地域活動に積極的に関わることで、自分自身の生き方を広げ、地域も活性化しようとするのが「おやじの会」。我が「栗林おやじ塾」では、香川県の高松市立栗林小学校区において、学校キャンプやあん餅雑煮づくりなど体験活動に積極的に取り組んでいます。

今の保護者は、体験が少ない世代ですが、親子で過ごす時間を大切にする「イクメン」と称されます。そこで、親子で一緒に初めての体験をするような場を設け、楽しさを共有するとともに、我が子だけでなく、参加者（地域）の子どもたちにも目配りができるおやじとして地域デビューをねらう「冒険塾」を、松楠会支援事業を活用して企画しました。

体験活動は年間4回。四季を意識し、5月下旬にハイキング（紫雲山）、7月下旬に海でバーベキュー（女木島）、9月上旬にキャンプと川遊び（奥の湯公園キャンプ場）、そして、1月下旬に雪遊び（蒜山高原 三木が原スノーパーク）を実施しました。参加人数は、多い時で36家族120人でした。

夏の女木島では、グループ毎にお父さんが調理を担当し、屋台方式で昼食。松林のキャンプ場での煮炊きは大変でしたが、たこ飯、サザエ壺焼き、手作りソーセージ、もちピザなどを見事に完成させました。「ワイルド！お父さんすごい。最高！」と子どもたちには好評でした。また、秋のキャンプでは、そうめん流しに竹伐りから挑戦。ササクレを丁寧に削ったり、節取りや継目の固定にこだわったりと、子どもたちの笑顔のためにというオーラが漂っていました。手伝う子どもたちと、まるで師弟のような「おやじ」も現れました。

地域社会の絆が見直されている今、子どもたちは、大人が地域教育活動に関わる姿や共に活動する中で、地域のためという意識を強めています。多様な視点から子どもたちを支え、育てていくことで、保護者にも、新しい学びと絆づくりの機会となるような場をコーディネートしてまいります。

溝内 哲也（教育・昭和62年卒）



2012年9月 奥の湯公園キャンプ場にて